

単元名	器械・器具を使つての運動遊び（跳び箱）	配当時間	4時間
単元の目標	(1) 順番やきまりを守って仲良く運動をしたり、運動する場所や器械・器具の安全に気を付けたりしようとする。 (2) 運動の仕方を知り、活動を工夫することができる。 (3) 跳び箱を使って、自分の体をいろいろに動かし、楽しく遊ぶことができる。		
単元を構想する上での留意点	跳び箱遊びでは、まず跳び乗ったり跳び下りたり、跳び越えたりすることのおもしろさを味わわせる。跳び箱上で楽しくいろいろな動きをする中で、助走→踏み切り→着手→着地といった一連の動きを身につけさせながら、動きのリズムやタイミングを体で感じ取ることが、低学年では大切である。本格的な技の追究は中学年以降の跳び箱運動の学習で行う。 展開例1では、まず助走から踏み切りまでのリズムや安全な着地を学習した後、技を発明する学習を行い、跳び箱の上でいろいろな動きができるという表現のおもしろさを味わわせる。 展開例2は、跳び箱に平均台を加え、器械・器具をジャングルに見立てて探検を楽しむ学習である。平均台ではいろいろな歩き方や動き方に挑戦して楽しませる。		
単元展開例1 … 跳び箱遊びを発明する例			
準備	跳び箱、マット、踏み切り板、学習カード		
学 習 活 動		留 意 事 項 な ど	
1 跳び箱遊びの学習のねらいと内容を理解し、学習の進め方について見通しをもつ。 ○学習のねらいや進め方を知る。 おもしろい技を発明して、跳び箱で遊ぼう ○マナーや安全な運動の仕方について知る。 ○グループを編成し、役割を分担する。 ○ <u>跳び箱に乗って遊ぶ。</u> ・跳び箱乗り新記録 バランスを保ちながら、友達を引っ張り上げるなどして跳び箱の上に何人乗れるかを競う ・跳び箱フルーツバスケット 椅子で行うフルーツバスケットとルールは同じ（跳び箱に乗る人数を決めて行う） ・跳び箱跳び乗り競争 跳び箱を背にして腰を下ろす 合図で跳び箱によじ登り早く立った方が勝ちなど ○試しの運動をする。 ・支持でまたぎ乗り、またぎおり ・支持で跳び上がり、跳び降り ・低い跳び箱での横跳び越し など		・跳び箱を使っていろいろな運動をする中で、新しい技を作り出すことを知らせ、意欲を高める。 ・4～6人グループを編成し、器具の出し入れの分担をしておく。 ・跳び箱への上り下りを、楽しく行う遊びをする。 ・腕で自分の体を支える腕支持や、片足踏み切りをなどの感覚を遊びながら身につけさせる。 ・膝を柔らかく曲げて安全に着地しているか観察し助言する。	
2～4 跳び箱遊びをする。 ○跳び箱に乗って遊ぶ。 ○跳び箱に跳び上がったたり、跳び下りたりして遊ぶ。 （めあて1） ・ <u>踏み越し</u> ・ <u>支持で跳び上がり、跳び下り</u> ひざで乗る 足の裏で乗る		・助走から踏み切りまでのリズムや安全な着地を身につけさせる。 ・2～3段の跳び箱を横向きに置く。 ・助走から片足で踏み切り、跳び箱上に片足を着けて跳び越す。 ・4～5段の跳び箱を縦に置く。 ・助走から両足で踏み切り、跳び箱に両手を着けて跳び乗り、好きなポーズを空中	

手を付いた位置より前に足を着く 大の字で跳ぶ 足をかかえて跳ぶ 1／2ひねって跳ぶ など ○跳び箱の技を発明する。(めあて2) ・予想される技 足開き跳び 足閉じ跳び 横跳び など ○発表会をする。 ・発明した技を発表する。 ・発表された技をまねる。 ○反省し、まとめをする。 ・新しくできるようになった技 ・がんばったこと ○第4時は単元のまとめもする。	でさせて跳び下りさせる。 ・ふわっと着地するよう助言する。 ・跳び箱の上でいろいろな動きができるという表現のおもしろさを味わわせる。 評 順番やきまりを守って、いろいろな跳び方に挑戦する活動を通して、「関心・意欲・態度」を評価する。 ・発明した技に名前を付けて発表させる。 ・技を発明した児童の名前を付けて〇〇君とびとしても楽しめる。 ・発表された技の中からまねしたい技を選んで行わせる。 評 発表会を通して、「技能」を評価する。 ・できばえを話し合い、学習カードに自己評価させる。
単元展開例2 … 跳び箱に平均台を加えてジャングル探検をする例	
準 備	跳び箱、マット、踏み切り板、平均台、学習カード、動物を描いた絵 挑戦する運動を示した掲示物 など
1 ジャングル探検の学習のねらいと内容を理解し、学習の進め方について見通しをもつ。 ○学習のねらいや進め方を知る。 グループでジャングル探検に出かけ、新しいジャングル遊びに挑戦しよう ○マナーや安全な運動の仕方について知る。 ○グループを編成し、役割を分担する。 ○動物走りをする。 ・カンガルー(両足とび) ・チーター(手足走り) ・ワニ(アザラシ歩き) ・ウサギ(うさぎとび) など ○ジャングルを回って試しの運動をする。 ・とびざるの岩(跳び上がり・跳び降り) ・ピラニアの沼(踏み越し) ・ゾウの背中(腕立て跳び上がり、下り) ・谷越え(平均台遊び) ・滝へジャンプ(肋木から) など 2～4 ジャングル探検をする。 ○動物走りリレー遊びをする。 ○ジャングル探検を楽しむ。(めあて1) ・それぞれの場で教師や友達の動きをまねする。 ・グループで回りながら、場を利用してできる遊びを行う。	・体育館をジャングルに見立て、猛獣や川や岩を跳び越えて探検することを知らせ、意欲を高める。 ・3～4人の少人数グループを編成し、器具の出し入れの分担をしておく。 ・前のめりの姿勢から跳び越す感覚を養えるような動物歩きをさせる。 ・児童のアイデアを取り入れながら、両足踏み切りや両手支えなどの動きを行わせる。 ・事前にピラニアや象などを描いた画用紙を器具や箱にはったりして準備しておく とジャングルの雰囲気が出る。 ・器具の近くにどんな運動に挑戦するか図示しておく とわかりやすい。 ・第1時に行った動物走りをグループ対抗で競争させる。 ・スタート地点やルートはグループで決めさせてもよい。 ・児童がよく知っている3分程度の曲を流し、曲が流れている間にジャングルを探検させる。 評 グループで仲よくジャングル探検をする活動を通して、「関心・意欲・態度」を

○新しいジャングル遊びに挑戦する。(めあて2) ・支持で跳び上がり→下り→両足着地→前ころがり ・踏み越し→1／2ひねり→両足着地→後ころがり ・横跳び越し ・足開き跳び など ○発表会をする。 ・新しいジャングル遊びを発表する。 ・発表されたジャングル遊びをまねる。 ○反省し、まとめをする。 ・できばえ ・めあて ・グループの協力 など ○第4時は単元のまとめもする。	評価する。 ・めあて1の活動の中から出てきたジャングル遊びや教師が紹介したジャングル遊びの中からやってみたい遊びをめあてとして行わせる。 評 めあてをもって挑戦する活動を通して、「思考・判断」を評価する。 ・発表された技の中からまねしたい技を選んで行わせる。 評 発表会を通して、「技能」を評価する。 ・できばえを話し合い、学習カードに自己評価させる。
---	---